

第1回甲州市下水道事業審議会会議録

日時：平成29年12月12日 火曜日
午後7時～

場所：甲州市役所 本庁舎1階
国際交流市民交流センター

出席者 委員 9名
事務局 6名

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 下水道事業の検証（平成27年度以降）について事務局説明

- 1 前回の答申内容確認
- 2 答申に基づく事業実施状況
- 3 現状報告
- 4 料金改定（第2回について）

会長 事務局から説明がありましたが、何か質問はないか。

委員 3年前の値上げの際の説明では当時の使用料収入は維持管理費用と流域負担金に消えてしまう説明だった。89円から115円に値上げしたことにより、収入が3千4、5百万円増えたはずだが、一般会計からの繰入金額に変化がないのはどういうことか。

事務局 平成32年度までに公営企業会計に移行するよう総務省から指導をされている。本管整備は補助が受けられるが、公営企業会計移行のための費用は補助が受けられないため起債と繰入金で賄っている。この費用と、過去に一番起債を借りていた時代の償還のピークに達したことが一般会計繰入金額に変化がない原因となっている。

一般会計繰入金7億円のうち、4億円に関しては交付税措置相当分なので繰入れてもよい額である。残りの3億円については、使用料で賄うべき金額となっている。

本管整備は年間1kmの整備延長で節約しつつ整備をしている。

会長 繰入金の7億円のうち4億円は交付税、3億円は使用料というのは基準であり、完全なものではない。措置としては4億円ということ。それよりも、普及率が低すぎる。

委員 本管が来ていなければ入りたくても入りようがない。数値の見積が甘いのではないか。

会長 水洗化率と普及率の違いは。

事務局 普及率は、供用開始人口を下水道以外の人も含めた市内全人口で割った率。全人口で割るため低い数値となる。
 供用開始人口とは、本管が整備された地域の人口である。
 進捗率は、供用開始人口を行政人口の内下水道全体計画内の人口で割った率。進捗率は現時点で7割を超えている。
 普及率と進捗率があつたら、進捗率を見たほうがよい。
 水洗化率は、加入率とも言う。整備済み(供用開始済み)のエリアの中で実際に使っている人の割合を示している。水洗化率は、現在87%となっている。今後も着実に水洗化率を伸ばしてゆく。

会長 専門家の意見はどうだ。

委員 下水道管を伸ばすよりも、下水道を使える地域に住んでいる人の接続を100%にするほうがよいのではないか。
 千野のし尿処理場の経費のコスト縮減について、希釈投入案について県から許可がもらえたのか。

事務局 口頭ではあるが、許可をもらうことができた。実現すると、現在よりも1日30トン多く使用してもらえるようになるが、現在色々な方法を検討している最中。

委員 既に下水道に投入していると聞いた。使用料をもらえているのか。

事務局 し尿を一次処理した処理水を下水道に流していて、使用料をもらっている。

会長 女性の意見も聞きたい。

委員 地元の状況を知り、大変な維持管理費がかかる施設があることを改めて確認した。

委員 千野し尿処理場について希釈の水はどこの水を利用予定か。

事務局 畑かん、井戸水、河川、水道を考えている。
 畑かんは利用する権利を新たに買うか、または今の既得権の水を利用するなど色々なケースを考えている。

委員 川はどこの水か。

事務局 塩川を考えている。

委員 収入は増えるが、安価な希釈用水の獲得方法を考えるべきだ。

数値の確認をしたい。資料30ページと35ページの金額の違いは
どうということか。

事務局 数値が平成28年度現在の数値となる。
委員 大和地区で下水道使用率100%なのになぜ値上げをしなきゃいけ
ないのか、総スカンを受けた。浄化センターの維持管理にかかるこ
とが周知されていない。完成しているのになんで上がるのか。丁寧
な説明をお願いしたい。民生委員をやっているが、高齢者の生活は
苦しい。しっかりとした説明をしてほしい。

元金と利子の償還の割合だが、利子の割合が多い。ゼロ金利もある
のに、そこは借換をすべきではないか。

事務局 民間委託は具体的にどのような委託をし、経費を削減しているか。
大和地区に関しては、大和浄化センターの管理と稼働中の57箇所
のマンホールポンプに関して維持管理を民間委託して、最適な処理
の仕方になるよう管理してもらっている。職員では管理が困難で高
上がりになるため業者をお願いをしている。

会長 さきほどの金利の話だが、過去に借換をやったことがあるならば、
検討すべきだ。

委員 収入拡大策について、接続率の伸び率1%台の計画だが、空家、高
齢化が進んでいるので早めに手を打ったほうがいいと思う。
接続率が伸びない原因を分析すべき。値段が高いから接続しないと
平気でいう人がたくさんいる。

会長 下水道が使える地域の方は早く接続をすべきだ。

委員 大和の話になるが、峡東につなげる流量は計算していて、事業計画
に反映されているか。今すぐつなげるのか。

事務局 大和浄化センターは稼働し始めてまだ13年ほど。充分使ってから
つなげる。このため、今回の事業計画には反映されていない。

委員 10年以上先の話で、まだ余裕がある。

事務局 次の段階のことを今から考えている。

委員 大和は下水道を使えない地域には市の合併浄化槽を利用している。
料金体系は下水道と同じ。下水道に流していないのに何で値上げを
するのかという不公平感をすごく感じている。実際のところ、下水
道料金と浄化槽料金はどちらが高いのか。

事務局 大和地区は、市町村合併前に下水道が整備された。その際、下水道
が整備できない箇所は、救済策として合併浄化槽を設置、使用料金は、
下水道と村設置合併浄化槽を同一料金体系とした。
塩山・勝沼地区の市設置型浄化槽の使用料は月約3,100円、2

ヶ月で6, 200円となる。下水道は、今回の改定後は2ヶ月で4, 560円となる。浄化槽使用料は下水道に比べ高上がりの設定となっている。ただし、家庭状況にも左右される。小人数だと割高、大人数だと割安となる。

会長 新しく意見書を出すのか。

事務局 前回の答申を尊重する形を取るので、検証結果について意見書を頂きたい。

会長 各自案を持ち帰り、修正案を事務局に送り、会長である私がまとめるということによろしいか。

委員 異議なし。

委員 大和地区は、住民説明を希望がある地区について行ってもらいたい。

(2) その他

会長 委員から、審議委員の改選を望む意見が多いため、今回でこの審議会は一区切りとし、審議委員は改選してはどうか。

事務局 審議委員の内、学識経験者以外の改選を希望。

委員 異議なし。

4 閉会

午後9時 閉会